

## ▼トリセノックス注 [注]

【重要度】 【一般製剤名】 三酸化ヒ素 Arsenic Trioxide 【分類】 再発・難治性急性前骨髄球性白血病治療剤

【単位】 ▼10mg/A [10mL]

【常用量】 0.15mg/kg/日

【用法】 1～2hrかけて点滴静注 [5%ブドウ糖, 生食 100～250mLに混合] 寛解が得られるまで投与 [最大 60回]

【透析患者への投与方法】 0.15mg/kgを週2～3回 (17)

【PD】 データなし (17)

【CRRT】 データなし (17)

【保存期 CKD患者への投与方法】 排泄遅延のため血中濃度上昇のおそれがあり慎重投与 (1)

【その他の報告】 データが少なく、正確には提示できないが、Vdが小さくなること、腎排泄が低下することから以下の調節を提案：Ccr 50～80mL/min : 0.08mg/kg/日, Ccr 49mL/min以下 : 0.15mg/kgを週2回 (17)

腎機能障害では無機ヒ素濃度が1.3～1.7倍、モノメチル体、ジメチル体濃度が1.5～4倍高く、QTc延長および肝障害の発生率も腎機能障害により増加するため減量が必要と思われる (Zhao Q, et al: Expert Rev Clin Pharmacol 2021 PMID: 34181499)

【特徴】 再発又は難治性の急性前骨髄球性白血病に適用。アポトーシス誘導、融合蛋白 PML-RAR $\alpha$ の分解などが推定されている。

【主な副作用・毒性】

【F】

【tmax】

【代謝】 無機ヒ素の代謝経路は、五価ヒ素と三価ヒ素の相互変換、それらからメチルアルソン酸 (MAA) への変換、さらにジメチルアルシン酸 (DMAA) に変換される。メチル化は主に肝で行われる (1) CYPには関連しない (1) MAA, DMAAの活性は無機三価ヒ素より低い (1) 代謝速度には喫煙が関連しているかもしれない (Ghiuzeli CM, et al: Leuk Lymphoma 2022 PMID: 34689693)

【排泄】 尿中回収率20%で、三価、五価のヒ素としてそれぞれ6% (1)

【CL】 資料なし (1) 単回投与時のAUCより0.7L/hr/kg [iv] (5)

【t1/2】 無機ヒ素として15～24hr (1) 総ヒ素として100hr (1)

【蛋白結合率】 10～70% [animal model] (1)

【Vd】 資料なし (1) おそらく5L/kg程度に大きい (5)

【MW】 197.84

【透析性】 HDクリアランス 5mL/min (17) 資料なし (1) 除去されにくいと思われる (5)

【O/W係数】 資料なし (1)

【更新日】 20221229

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。